

## 平成 26 年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

創立以来掲げる「六綱領」（自主・自律、堅忍・果敢、創造・開発）を基に、生徒の個々の夢を実現させる教育活動を実践し、社会人として自立でき、地域や社会に寄与する人材を輩出する。厳しく寄り添いながらも、生徒・教職員がともに学び、ともに伸長することにより、「生徒・教職員にとって、楽しく伸び伸びと力を発揮でき、夢の実現へ主体的に活動できる学校」、そして、地域との交流・連携を推進することにより、生徒・保護者・地域から愛され、信頼されるとともに、「地域に学び、地域とともに歩む学校」をめざす。

## ①夢を育み自立できる生徒を育成する学校 ～ キャリア教育・学習指導の充実 ～

生徒の持つ能力を掘り起こし、生徒の資質を磨き上げながら、「将来の夢について、自身で、自信を持って語ることのできる若者」を多く輩出できる教育活動を展開する。

## ②厳しく寄り添いながら、生徒を指導・支援できる学校 ～ 生徒指導・支援体制の拡充 ～

様々な課題を抱えた生徒一人ひとりに対しての関わりを深め、保護者・地域・中学校との連携を強めながら、できる限りの支援や指導を行う。さらに教職員個々が生徒の教育者であり、且つ“生徒の応援者”としての機能を十分に発揮できる教育環境を構築する。

## ③地域とともに歩み、地域に愛される学校 ～ 地域連携の深化 ～

地域との連携を密にし、地域の豊かな自然環境や地域の人材・施設等を活用した教育活動を展開し、地域力を積極的に取り入れながら、生徒の「豊かな心」、「生きる力」、「自尊感情」、「規範意識」を育成する。

## 2 中期的目標

## 1 確かな学力の育成

- (1) 授業アンケートや学校教育自己診断の結果を踏まえ、「わかる授業」をめざした授業改善を行い、「美原の授業デザイン」の確立に取り組む。  
ア 「少人数展開授業」を実施し、生徒の学力実態に応じた「わかる授業」を実現、及び、学校設定教科・科目の増設等により、授業・学習に興味・意欲を持つ生徒を増やす。また、教職員相互の授業見学・研究授業、および生徒の授業アンケート等を通じて、各自の「授業力UP」を図る。  
※生徒向け学校教育自己診断結果の授業理解度（平成 25 年度 60.2%）を毎年 3%引き上げ、平成 28 年度には 69%以上にする。

## 2 あらゆる側面での生徒支援に向けた指導体制の整備と充実化

- (1) 将来の自分の生き方を設計できる力をつけることがキャリア教育であると考え、全ての教育活動をこの観点を踏まえ実践する。また「総合的な学習の時間」とLHR等を活用し、キャリア教育や人権教育等を総合的に実施し、美原の志学を確立させる。

ア 授業はもちろん、学校行事・HR活動・生徒会活動・部活動等全ての教育活動を「自立した社会人を育てる」という観点から組み立てる。そのために入学から卒業までの3年間を見通した指導計画を策定する。外部人材や地域・施設の活用を積極的に取り入れ、地域のニーズも組み入れながら、地域に貢献できる人材を育成するよう努める。

イ「総合的な学習の時間」「LHR」を中心に、3年間を見通した人権教育の指導計画を確立させる。人権教育委員会の活性化を図り、個々の気になる生徒情報について学年と人権教育委員会・支援会議で共有できる体制を作る。

※進路未定率を、平成 28 年度には 0%台にする。（平成 25 年度 2.0%）

※学校教育自己診断結果の進路指導に対する肯定度（平成 25 年度 68.9%）を毎年 4%引き上げ、平成 28 年度には 80%以上をめざす。

- (2) 「ええもんはええ、あかんもんはあかん」を原則に「厳しく寄り添う」姿勢を貫いた生徒指導を実践する。生徒との関わりについて、いわゆる“教育指導者”であり、且つ“生徒の応援者”としての機能を十分に学校（教職員）が発揮できるよう、計画的に“生徒理解の研修”の実施等により意識と質の向上を図るとともに、“傾聴”と“守秘”の姿勢で、生徒に向き合い、その声を受け止め、生徒理解を深める。また、必要に応じて関係教職員がその対応を協議し、連携・協力しながら指導・支援する。

ア 「教育相談室・保健室（相談室）」の常駐体制と 3Cルーム（相談室）の活用を図り、生徒が安心して相談できる環境を整備する。また、外部の専門員による校内での相談体制を構築。支援コーディネーター・支援会議を中心に、中学校や相談機関、医療・福祉・労働関係機関と連携等の深化を図る。  
※学校教育自己診断結果の教育相談に関する満足度（平成 25 年度 54.1%）を毎年 3%引き上げ、平成 28 年度には 63%以上にする。

- (3) 健全な成長のための基本的な生活習慣の確立

ア 規則正しい生活習慣は学習意欲や気力、体力の向上につながり、学力や生きる力を伸ばしていくものとする。家庭との連携を図りながら、生徒一人ひとりの現状を把握し、細やかな健康相談等を実践する。

## 3 生徒と教職員が健康で安全に過ごせ、魅力のある学校づくり

- (1) 特別活動や生徒会活動を通じて、生徒の自己有用感を醸成し、集団や学校への帰属意識を高める。また、地域への広報活動に積極的に取り組み、美原の良さをアピール、入ってよかった学校をめざす。さらに、地域関係機関との連携を密にし、地域とともに歩む学校とする。

ア 生徒自らが積極的、主体的に取り組む学校行事や生徒会活動、部活動等を展開し、集団の中で人と調和しながら活動できる能力を育成する。

イ 中学校訪問や学校説明会等を地域のニーズに応えるように改善し、美原に入りたい生徒を増やす。

ウ 体育専門コースの充実を図り、活動を地域にも広げ、将来の地域の指導者となりうる人材を育成する。

※学校教育自己診断結果の学校行事の肯定度（平成 25 年度 75.4%）を毎年 2%引き上げ、平成 28 年度には 82%以上にする。

- (2) ICTの活用等により情報化・効率化を図り、教職員が時間的・精神的な余裕を持てる環境を整備する。また、HPの充実を図る。

ア 校務処理システムを定着・活用することにより、教職員の事務業務を軽減し、生徒と接する時間の確保に繋げる。

イ HPをさらに充実し、広報に努める。

- (3) 「地震などの自然災害にも対処できる防災計画の策定」、「機能的な危機管理体制の確立」により、安全で安心な学校づくりに努める。

ア 教職員、生徒による日常的な安全点検を実施し、安全に過ごせる環境整備に努める。

イ 命の大切さを認識させ、生徒が自らの命を守るための「主体的に行動する態度」を育成する。

※生徒向け学校教育自己診断における「命の大切さ」に関する肯定度を毎年 5%ずつ向上させ、平成 28 年度には 75%とする。（平成 25 年度 60.3%）

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 26 年 11 月実施分]	学校協議会からの意見
<p>回収率は生徒 96%、保護者 63%</p> <p>23 年度から毎年肯定的意見が増加傾向を見せていたが、今年度はほとんどの項目で下降してしまった。今後、その原因を分析し、次年度以降の学校経営計画に反映させていく。</p> <p>【学校生活全般】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学校に行くのが楽しい」の項目で 70%以上をめざしたが 59.8%となってしまった。特に 3 年生はほとんどの項目で前年度よりも肯定的意見が増加している中、この項目だけ前年比 16.5%も下降したことは学校全体として生徒の意見等を聞きながら変革していかなければならない。</li> </ul> <p>【学習面】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「授業はわかりやすい」「教え方を工夫している」従来型の講義形式では中々理解が深まらない面もあり、ICT を活用できるよう設備面を充実させていく。</li> <li>1 年生で「学校に行くのは楽しい」が 3 学年の中で最も肯定的意見が大いにもかかわらず「勉強は大切」が最も低いポイントとなっている。入学時より 3 年間の学習面の大切さを各自の目標設定とともに明確化する必要がある</li> </ul>	<p>【第 1 回 平成 26 年 6 月 16 日】</p> <p>6 時限を授業見学の後、「平成 26 年度学校経営計画及び学校教育計画」について議論。</p> <p>1、平成 26 年度経営計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が社では社員に「何のために何をするか」を考えさせる。近い将来をイメージさせ、そうなるために今必要なことは何か、各自で異なる役割を自覚させている。学校でもそのような個別指導ができないか。</li> <li>コンピューター利用による成績処理とはどのようなものか。セキュリティは大丈夫なのか。先生方の時間外の仕事が増えるのか。府立高校共通の校務処理システムが導入された。不慣れなシステムで、担当者が交代したこともあり、しばらくは教員の負担感はあるものと思われる。今年度よりシステム管理者は分掌として明確に位置付けたので、しばらく様子見。セキュリティに関しては府のサーバーで管理しているので大丈夫。</li> <li>授業では生徒たちが生き生きと受けている姿を見て、安心した。ただ、中には寝てしまっている生徒もいたことを考えると、生徒が授業に興味を持てる進め方をしてほしい。</li> <li>人材育成の観点から教員向けの校内研修はどのように進めているのか。人権や生活指導、教務面など年間計画の中に取り入れて実施している。また、教科指導等に関しては授業アンケートの結果を各教科にフィードバックし、教科会議で検討、授業改善につなげている。</li> <li>進路実績については中学生の保護者の関心も高く、高校選択の際にも重視されると聞い</li> </ul>

## 府立美原高等学校

## 【生徒支援】

- ・「先生の指導を理解できる」「悩みや相談に応じてくれる先生がいる」はそれぞれ 55.4%、51.2%と少し減少。特に 1 年生は 44.9%と半数以上が理解できないと答えている。3 年生は 71.6%、保護者では 66.2%が肯定的であることを考えれば、高校生として「当たり前のことを当たり前にする」という生活指導面における必要性をさらに丁寧に説明していかなければならない。
- ・進路に関する項目では 3 年生は 82.9%が肯定的であるが、1 年生では 52.5%と約半数の生徒が進路指導に対する実感が無い。1 年次から進路目標を定めることができるよう指導計画を改定する。

## 【部活動・行事】

- ・部活動に関する肯定度 63.1%、新入生の加入率 49.2%と前年度とほぼ同じ結果であった。部活動の意義などを生徒たちに啓蒙、また生徒会部の体験入部の取り組みをさらに充実させ部活動加入率を増加させ、学校の活性化につなげたい。
- ・行事に対する肯定度も昨年度とほぼ同じ 73.2%であった。ただ 3 年生は 82.9%が肯定的なことから、生徒が中心となって運営されている実感を持つことができている。下級生も実感できるよう、生徒会部と連携し、取り組みを進めていく。

## 【命の大切さや人権】

- ・命の大切さや人権について学ぶ機会がある」57.5%と 2.8%減少している。特に 1 年生では 44.7%しか肯定的な意見がない。3 年生が 72.5%であることから、人権教育委員会から 1.2 年生徒への情報発信を細目に行うとともに、人権教育計画の精査を行う。

## 【その他】

- ・「PTA 活動に参加しやすい」「授業参観や学校行事に参加したことがある」50%以上をめざして、PTA 実行委員会と協力していく。
- ・今年度から保護者に対する広報活動の項目を「学校のホームページを見たことがある」に変更した。47.4%が見たことがあると答えているが、さらに多くの保護者に見ていただけるよう広報活動に努める。

ている。美原高校の状況はどのようなものか。→実績は大学・短大、専門学校、就職がそれぞれ三分の一ずつ。進学希望者向けの放課後講習なども実施しているが、進学者のほとんどは指定校や A0 入試などの推薦入試である。今後、一般入試受験者がでてくれるようなカリキュラムも検討している。就職に関しては進路指導部を中心に丁寧に対応しており、学校斡旋の就職はここ数年 100%である。

- ・学校行事の精選は行っているのか→昨年度までは行事日としていた体育大会予行、芸術鑑賞、マラソン大会については、今年度から授業を行ってから実施するように変更し、授業時間数を確保している。
- ・遅刻についての特別指導を生徒が嫌がって、その対応に困っている保護者もいると聞かすが、どうでしょうか。子どもへの対応に困っている保護者については、その生徒に対する指導だけではなく、個別に状況を把握して保護者を支援するような働きかけも必要ではないか。

## 2、その他

- ・平成 27 年度入学生から制服を変更
- ・生活指導部より今年度の状況と方針について報告
- ・防犯カメラ設置に関しての報告

## 【第 2 回 平成 26 年 12 月 10 日】

## 1、平成 26 年度学校教育自己診断結果について

- ・前年度と比べて肯定的な評価が下がっている。今年度の評価が極端に低い訳ではないが、昨年度まで毎年上昇していたのに残念である。
- ・評価の下がった原因は何なのか。入試制度が変わったことなのか、教員の入れ替わりなのか、学習指導要領が変わったことなのか、しっかり分析して今後活かしてほしい → 今のところ原因は何なのかはわからない。平成 23 年度から順調に毎年上昇していたものが今年度下降したことについては、学校全体として分析し、次年度以降の経営計画に反映させていく。
- ・教員の回答率が低い → 次年度、教員には職務の一環として提出を求めていく。自身の振り返りとしても必要である。
- ・ホームページも非常によく更新されていて学校の様子がよくわかるようになってきているが、中学生向けのアピールポイントをもっと掲載してはどうか → 情報処理委員会と協議して内容を精査していく。

## 2、平成 26 年度第 2 回授業アンケートについて

- ・教師が授業の中で生徒一人ひとりに合った目標や役割を与えれば、生徒も授業に前向きに取り組むのではないかと → グループ学習など取り入れている授業では評価も高い。教員相互の授業見学をもっと充実させ、生徒のニーズにあった授業構築をめざしていく。
- ・授業を受けて内容に興味を持つようになった」あるいは「知識が身についた」と生徒が感じることは大切なことである。これらに関する評価は概ね高いという結果でているので、さらに充実をさせてほしい。
- ・これからさらに伸ばすためには、生徒の自尊感情を高めることが必要である。それには最後まできちんとできたという生徒の達成感の積み重ねが大切である。是非、そういう授業を。また、アンケート結果を受けての改善策はもっと具体的なものにすべきである → ともにカリキュラム委員会や将来構想委員会を中心に各教科とキャッチボールをしながら進めていく。

## 2、その他

- ・創立 40 周年記念行事について
  - 2 部制にして生徒が参画できる行事を計画している
- ・防犯カメラ、センサーライトの設置完了報告
- ・生活指導部より現状報告
  - 昨年度まで 8:40 で遅刻をカウントしていたが、今年度より 8:35 で遅刻としてカウントしている。大幅に遅刻者が増加すると思われたが現在 2000 件ほどであり、昨年度より減少している。今後も生徒への意識付けを徹底していく。
- ・保健部より、新たに AED を 1 台設置したことについて報告

## 【第 3 回 平成 27 年 2 月 4 日】

## ①平成 26 年度学校評価（案）について

学校教育自己診断の生徒の結果は、昨年度までは肯定的評価が毎年上がっていたが、今年度は肯定的評価が下がった項目が多かった。学年別で見ると、3 年生は多くの項目で評価が高いのに、「学校に行くのは楽しい」が低い。1 年生は「学校に行くのが楽しい」は高いが、「勉強は大切だと思う」が低い。ただ、授業アンケートでは昨年度より今年度の方が評価は高くなっている。授業の工夫とか教員の取り組みなどの評価は上がっており、実際に ICT 機器を活用した授業を行っている教員も増えている。結果も踏まえながら、さらに取り組みを進める。他の面では、進路実績も例年並みで学校斡旋就職も内定率ほぼ 100%となるだろう。生指面では、3 年生は生活指導に対する肯定度も高いが、1 年生は違う。学年進行で変わってくる部分をより早い段階でおとしこんでいく。

○自己診断アンケートをとった時期や状況が昨年度までと異なるのではないかと

⇒ 同じ時期に昨年と同様に LHR で実施したのですが・・・

○子どもたちの期待が上がってきたということはないのか？

⇒ 今の 1 年生は 3 年生と比べると要求水準が高くなっているのかもしれない。今の 2 年生から前後期入試となったこともあり、生徒たちの学校への目的意識の差が大きくなっているのかもしれない。

## 府立美原高等学校

- 例えば前期入試で入学してきたような目的意識の高い子がリーダーとなり、集団を引っ張っていくような指導をしてくれていると思うが、今後も続けていってほしい。
- 保護者に対して、この結果で学校をより良くしようとしているというアンケートの目的をさらに強く説いて、回答率をあげ、回答の中身を良くするような取組をしてほしい。ゆくゆくは後につながる生徒のためになる。⇒ 丁寧に説明していく。
- 1学級増と聞いたが、なぜ美原高校が増えたのか？⇒ 南河内地域は中学生数減少だが、3校増加。根拠は聞いていない。
- 定員割れの危険性もあるのでは。府に対して、特別なことをやってくれと要求する権利があるのではないか、例えば教員数増とか。⇒ 必要な要求はしていきたい。
- 学校教育自己診断の数値は、全国あるいは大阪府において、他校と比べて高いのか低いのか？⇒ 全国での数値はわからないし、学校ごとに質問項目も異なるので比較は難しいと考える。ただ、校長としては個人的に他校との比較は行っている。
- HPの活用について提案だが、生徒が考えるような、美原高校に特化しない一般的な質問や相談とその解決法などをまとめて整理してHPに掲載してはどうか。学校の雰囲気に入り込むきっかけとなるのではないか。⇒ いわゆるQ&Aですね。検討して是非実行したいと思います。
- 「学校に来ることが楽しい」というアンケート結果が高いことは最も大事なことでないか。それでかなり学校も評価される。ネット上のこの学校の評価を見ている、「この学校受けたいだろうか」という質問に答えている人は「楽しい学校だ」、「授業が分かり易い」など肯定的な評価が多い。肯定的評価を受けている学校だということがわかる。ネット上のやり取りは多いので、本校に興味を持っている親や子供たちに、よりこの学校に行きたいと思わせる特色を出せるか、が重要。
- 経営計画には多く記載されているが、この学校はこれだという一番の目玉を何かを打ち出したほうがよい。あれもこれもできるではなく、何でもできるよりはこれが一番と取り上げられたらよいと思う。⇒ 全教員で検討しており、早く答えを見つけたい。
- 評価の下がった原因はわからないが、何かあるのかもしれないという危機感を持って、アンテナをはって、今やっていることを進めていくことが大切。その危機感があったので見えた、ということもあるかもしれない。

## ②平成 27 年度の学校経営計画について

- 3年後の達成状況を視野に入れて組み立てている。1学級増で想定されることは何か。後期入試は厳しいかもしれないことも視野にいれ、中期目標では、基礎学力の定着に変更した。学び直しも視野に入れた授業展開、わかる授業のために ICT 等視覚機材を活用する。生徒支援やキャリア教育については 進路希望を実現するために日々の教育活動を展開していく。「美原の生指は厳しい」といわれるが、それは当たり前のことを当たり前にするためにやっており、この指導方針は維持。ただし傾聴の姿勢も忘れないことが大切。連休明け、夏休み明けに相談室の常駐を実施する。キャリア教育では進路未定者をどれだけ0に近づけるかが重要。学校の指導に乗り切れない生徒を減らす。センター入試対応も考えたカリキュラムに変えていきたいと考えている。ただ、入試の結果次第。
- ICTについては、どれくらい準備できているのか。プロジェクターやネット環境は？  
⇒ ネット環境については各教室に端子がある。そのためのクラス用のノート PC も用意している。第2LAN 教室に PC は人数分、プロジェクター室も新たに設置した。新しいプロジェクターには電子黒板機能を追加できるので導入してみたい。
  - 27年度入試の受験生は内申10段階でやっている。次の年は内申の評価方法が変わる。目標に準拠した評価。学び直しが大事になるのかもしれない。その状況で3年計画はむずかしいのではないか。なお、5段階評価はだいたい正規分布になっている。やはり5は多いが、そんなに大きく学力と離れた評価はついていない。⇒ 検討が必要かもしれない。
  - 修学旅行で丁寧なメールもらった。メール配信の登録者はどれくらい？  
⇒ 半分以下。家庭で会話するきっかけになればという気持ちもありメール配信している。今後も親子の会話のツールになることを期待して続けていく。
  - 入学時に加入の案内はしているのか。手続きは難しいのか。  
⇒ 加入の案内も行っているし、登録の操作も難しくないのだが。

## ③各分掌より

- ・進路指導部より ⇒ 進路実績報告
- ・保健部より ⇒ 保健室来室状況報告

## 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 確かな学力の育成	<p>(1)「わかる授業」をめざした授業改善、「美原デザイン」の検証</p> <p>ア 生徒実態に即したカリキュラムの再考及び策定</p> <p>イ 教員研修の充実、教育ツールの活用によるわかる授業づくり</p> <p>ウ 公開授業、研究授業と授業アンケートを活用した授業改善の推進</p> <p>エ 他校種との授業交流等による教職員の授業力向上</p>	<p>ア・カリキュラム委員会を中心に生徒のニーズを分析し、それに応じたカリキュラムを検討し、「美原デザイン」の策定を図る。</p> <p>イ・パッケージ研修を校内研修に位置付け、わかる授業づくりをテーマにグループワークを行い、教職員の資質向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「わかる授業」「生徒が自ら取り組むことのできる授業」をめざし、全科目で体験的な要素を取り入れた授業モデル、また、細やかな対応を図れる授業を構築する。</li> <li>・教職員対象のICT活用研修を2回以上実施し、視聴覚教材等を活用した授業をさらに拡充する。</li> </ul> <p>ウ・年2回公開授業、授業アンケート(6、11月)を実施し、課題把握と分析を行い、授業改善をすすめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科で年2回研究授業を実施し、授業者に対する助言及び分析を実施。分析結果を基に教科内で改善案の策定を図る。</li> </ul> <p>エ・初任教員及び若年教員を中心に、地域の小、中学校を含めた他校の授業見学を実施し、教員力の向上をめざす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回の公開授業を学校協議会委員及び地域の小学校、中学校教員にも公開し、意見徴収を行う。</li> </ul>	<p>ア・進路希望調査等から検証を実施。生徒向け学校教育自己診断による進路指導に対する満足度を74%にする。(h25: 68.9%)</p> <p>イ・わかる授業づくりをテーマにした教職員研修を3回以上実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒向けの学校教育自己診断結果における授業理解度63%以上(h25: 60.2%)</li> <li>・生徒向け学校教育自己診断による「教え方の工夫」68%以上(h25: 64.8%)</li> </ul> <p>ウ・生徒向け学校教育自己診断における「授業は大切」80%以上(h25: 77.1%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒向けの学校教育自己診断結果における授業理解度63%以上(h25: 60.2%)</li> </ul> <p>エ・小中学校を含めた他校種の授業見学を各初任者2回以上実施する。</p>	<p>ア・数学、英語に関しては習熟度別少人数授業を導入したことにより、生徒の進度に応じた授業を展開できた。また、数学では1年生に対し、学び直しの要素を取り入れた授業も実施。(○)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業アンケートでの評価は低くはなかったが、学校自己診断結果では「授業はわかりやすい」7.5%「教え方の工夫」6.7%、「進路指導に対する満足度」3.3%減少であった。(△)</li> </ul> <p>イ・授業づくりの研修は1回しか実施できず。(△)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期よりプロジェクター室を設置したこともあり、ICT機器を活用した授業や体験的要素を取り入れた授業は増加した。(○)</li> </ul> <p>ウ・年2回の公開授業、授業アンケートを実施し、各教科において課題把握と分析を行い、授業改善の取り組みを進めている。研究授業は全教科では実施できず、次年度は全教科で実施する。自己診断の「授業は大切」の項目は73.3%と微減であった。(△)</p> <p>エ・学校協議会委員の方には6月に授業見学をしていただき、貴重な意見を頂戴することができた。次年度も学校協議会及び地域の小中学校教員の見学を実施する。(○)</p>
2 あらゆる側面での生徒支援に向けた指導体制の整備と充実化	<p>(1)キャリア教育、人権教育を総合的に実施し、美原の志学を確立</p> <p>ア 「自立した社会人を育てる」ために、入学から卒業までの3年間を見通したキャリア教育の指導計画を策定・実践</p> <p>イ 教職員の進路指導力向上と外部人材の活用</p> <p>(2)「厳しく寄り添う」姿勢を貫いた生徒指導の実践</p> <p>ウ 個に応じた支援体制のさらなる充実と環境の整備、関係機関との連携と規範意識の醸成</p> <p>(3)健やかな成長のための基本的生活習慣の確立</p> <p>エ 家庭への啓発活動の充実</p> <p>カ 個別指導、健康相談の実施</p>	<p>ア・この3年間取り組んだキャリア教育の実践を基に内容を精査し、入学時から3年間の指導計画を策定し、全教職員で共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年による実践を踏まえながら、学校全体で年間を通じて成果検証と改善点の検討を行い、生徒実態に即した計画とする。</li> <li>・外部人材を活用、生徒向け進路講習・講座を第1学年から充実させる。</li> </ul> <p>イ・外部人材を活用し、進路指導に対する教職員研修を実施し、生徒支援体制の充実を図る。</p> <p>ウ・教育相談室、保健室(相談室)の常駐体制(5月、9月の重点時期)及び中期計画推進費により整備できた3Cルームの活用をはかり、生徒が相談しやすい環境を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援会議及び支援コーディネーターを中心に子ども家庭センターやCSW等との連携を一層深化させ、生徒支援に外部関係機関を積極的に活用する。</li> <li>・遅刻減少や生徒の規範意識向上に対し、生徒会、PTAとタイアップした挨拶運動やキャンペーンを実施。生徒自らの気付きにつなげる。</li> <li>・教職員研修のさらなる充実、ケース会議等の開催を通じて、生徒指導、生徒支援、保護者対応等への教職員の対応力を向上させる。</li> </ul> <p>エ・保健だよりの定期発行及びHPへのアップを行い、家庭での食育も含めた基本的な生活習慣確立への啓発活動に努める。</p> <p>カ・規則正しい生活習慣は学習意欲や気力、体力の向上につながる。特に気になる生徒への個別指導、健康相談を充実させる。</p>	<p>ア・生徒向けの学校教育自己診断結果における進路指導に対する満足度を74%にする。(h25: 68.9%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職内定率98%以上(h25: 97.0%)</li> <li>・進路未定率を2%(h25: 2.9%)にする。</li> </ul> <p>イ・外部人材を活用した進路教職員研修を6回以上実施する。</p> <p>ウ・学校評価自己診断での生徒の「学校の相談対応項目」に対する肯定的評価を57%にする。(h25: 54.1%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会、PTAとの連携による挨拶キャンペーン及び運動した清掃活動を2回以上実施。</li> <li>・教職員研修6回(生指、人権、授業づくり、育成支援)校内初任者研修毎月1回。</li> </ul> <p>エ・保健だよりを毎月1回発行し、HPにアップする。</p> <p>カ・学校評価自己診断での生徒の「学校の相談対応項目」に対する肯定的評価を57%にする。(h25: 54.1%)</p>	<p>ア・学校自己診断結果は65.6%と3.3%下降した。3年生では82.9%が肯定的であるのに対して、1年生は52.5%である。1年次からの進路指導を生徒実態に合わせて実施していかなければならない。(△)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2月段階での就職内定率は91.3%(△)、進路未定率は3.27%である。(△)</li> </ul> <p>イ・新転任以外の教員は全員受講済みであったため、進路研修の形態を変更。次年度より当該学年団への研修を1学期に実施することとした。(△)</p> <p>ウ・保健室併設の相談室において5、9月に常駐体制をとり、相談週間を構築した。今年度初めての試みではあったが、少数とはいえ生徒が来室したことは有用な取り組みであったと考える。次年度も継続していく。(○)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶キャンペーンは生徒会とPTAがタイアップして2回実施。生徒の態度に変化が見られ、多くの生徒がよく挨拶をするようになっていく。参加した保護者の評価も良い。(◎)</li> <li>・生徒会部員だけでなく学級委員の活用を考えた結果、生活委員とPTA合同の美化活動を1回実施することができた。今後もPTAの協力を仰ぎ、生徒と協働しながら生徒の規範意識の向上に取り組んでいく。(◎)</li> <li>・教職員研修は計画通り6回実施。教職員の対応力、教員力向上につながったと考えている。(○)</li> </ul> <p>エ・保健だよりを毎月1回発行し、HPへもアップすることができている。学校協議会委員から高い評価を得た。(◎)</p> <p>カ・保健室を中心として、健康面、生活面で気になる生徒への働きかけを継続して行っている。学校自己診断の相談関係の項目は2.9%下降(△)</p>

## 府立美原高等学校

<p>3 生徒と教職員が健康で安全に過ごせ、魅力のある学校づくり</p>	<p>(1) 特別活動等を通じた生徒の自己有用感の醸成と地域広報活動への取り組み ア 生徒の学校行事等への参加意欲向上に向けた施設整備、校内体制の充実 イ 創立40周年記念事業(H27.11月予定)への取り組み ウ 部活動の活性化に向けた取り組みの推進 エ 中学校訪問、学校説明会の更なる充実と改善及び地域行事への参画</p> <p>(2) ICTの活用等により情報化、効率化。HPの充実 オ HPの随時更新と体制の充実 カ PTAへの情報提供の充実</p> <p>(3) 安全で安心な学校づくり キ 自転車事故防止への取り組み</p>	<p>ア・キャリア教育とも関連付け、学校行事の時期及び内容の見直しを行い、全生徒が積極的、主体的に参加できる行事とする。 ・国際交流バザールの開催時期と内容を精選し、生徒のボランティア意識の向上及び異文化理解の促進、地域から愛される学校づくりの取り組みを行なう。 ・がんばった学校支援事業で整備した設備を活用し、国際理解学習における体験活動(異文化交流、舞台発表等)を充実させる。 イ・次年度の40周年事業という儀式的行事への取り組みを進めることにより、集団への帰属意識や連帯感を深める。また、地域や関係団体との連携を深める。 ウ・生徒会による部活動発表会(4月新入生向けと文化祭、国際交流バザール等)を実施するとともに、あらゆる機会を通じて部活動を顕彰する。 ・地域中学生参加による部活動の大会(美高杯)や合同練習会、体験会を生徒が企画、運営することにより、生徒の達成感や自己有用感を醸成する。 エ・体育専門コースの生徒を主体とした体験活動プログラムへの地域の小中学生及び保護者の参加を促し、生徒の達成感及び規範意識の向上につなげる。 ・近隣地域の全中学校を3回以上訪問、学校説明会を年間5回実施する。また、校外への説明会、出前授業を拡充する。なお、自転車通学が96%という現状を踏まえ、自転車通学範囲内の中学校への広報を充実させる。 ・今まで学区外であった中学校への広報を充実させ、美原の良さをアピール、目的意識を持った生徒の増加を図る。 オ・HPを随時更新することにより、本校の取り組み等を発信し、広報の充実を図る。 カ・メール配信のさらなる充実及び保護者宛文書の郵送(2回)等により、保護者への適切な情報提供を行う。 キ・全校生対象の自転車マナーに特化した安全講習会を3回実施し、交通事故防止に努める。 ・毎朝の正門周辺での交通指導により、自転車マナーの向上を図り、交通事故防止に努める。</p>	<p>ア・生徒向け学校教育自己診断結果における学校行事に対する肯定率を2%向上させる(h25:75.4%) ・生徒向け学校教育自己診断結果における国際理解教育に対する肯定率69%以上(h25:66.5%) イ・生徒会による意見収集及び生徒会だよりの年5回発行し、生徒の参画を促す。 ウ・新入生の部活動加入率を52%以上(h25:49.5%) ・生徒による学校教育自己診断結果における部活動の肯定率68%以上(h25:63.2%) ・美高杯への参加校45校以上(h25:39校) エ・体育専門コース生によるコース選択の満足度93%以上。(h25:90%) ・学校説明会参加者数750名以上(h25:約745名) ・今までの通学区域外の中学校への出前授業を1校以上実施する。 オ・学校説明会、見学会等のアンケートにおける広報に関する肯定率55%以上(h25はアンケートを実施せず) カ・保護者の学校教育自己診断における文書配付及び連絡の適切さの肯定率75%以上(h25:69.0%) キ・生徒による学校教育自己診断における「先生の指導を理解できる」を60%以上にする(h25:57.9%)、「命の大切さ」63%以上にする(h25:60.3%)</p>	<p>ア・授業日数確保のため、体育大会予行、芸術鑑賞、マラソン大会を授業後実施とした。 ・球技大会、スポーツテスト、体育大会、文化祭などは企画から運営までを生徒会、実行委員会、クラブ員が担当することができた。ただ、行事に対する肯定度は2.2%下降している。3年生では82.9%が肯定的であるが、1年生では67.1%であり、次年度の企画、運営を考慮する必要がある。(△) イ・40周年事業の骨子は策定済み。生徒会とタイアップしながら生徒が参画できる記念式典を計画できている。(○) ウ・新入生の部活動加入率は49.2%と少し減少した。次年度50%以上が加入するよう生徒会部とともに部活動の良さをアピールしていく。(△) ・今年度は地域の催事への参加要請が増加、文化部の発表の場としての機会を得ることができた。生徒たちの達成感の醸成にも有用である。(○) ・美高杯へは39校780名の参加があった。学校数は目標には達しなかったが、参加生徒数は昨年度を大幅に上回っている。次年度もさらに取り組みを進め、本校を希望する生徒を増やす。(○) エ・体育専門コース生へのアンケートは2月に集計 ・学校説明会及び見学会等への参加者は1151名と目標を大きく上回っている。(◎) オ・学校見学参加者でHPを見たことがある率は20%程度であった。ただ、参加者の9割以上は中学校訪問時に持参したポスター等を参考に参加してくれている。(△) カ・メール配信への保護者の評判は良い。今後も継続し、リアルタイムで情報提供を行っていく。次年度はさらに加入者を増やす。(○) ・自己診断では保護者に対しての質問項目を今年度「ホームページを見たことがある」に変更したため評価できず。ただし、保護者は47.4%が見たことがあると回答している。次年度さらにPRに努め、情報ツールとしての活用を推し進める。 キ・全校生徒に対し、3回の自転車マナー講習会を実施した。また、1年生に対しては体験型の講習会を実施することができた。自転車事故は昨年度より減少した。(○) ・学校自己診断における「生活指導」「命の大切さ」の項目ともに肯定度は下降してしまった。(△)</p>
------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------